

地域福祉コラム

～一人ひとりが輝く存在～

「一人の生命は全地球よりも重い」という言葉を耳にしたことはありませんか。

この言葉は、明治時代の著書「西国立志編」の序文にある一文だそうです。平成に至る今日にあっても色あせることなく、人の生命の重さや尊さを問い掛けています。生命は、全てがかけがえのないものであり、決しておろそかにしてはなりません。

私たちが目指す地域福祉でも、この生命の尊重という考え方が根幹にあります。一人ひとりがいとおしまれ、輝く存在であるということを互いに



認め合えなければ、そこには対立関係や孤立してしまう不安感が生じてしまいます。

全ての人が、人としての尊厳を守られる地域社会の実現こそが、私たちが目指す「誰もが暮らしやすいまち」なのではないでしょうか。